NEWS RELEASE

立命館大学

2022. 4. 25

報道関係者　各位

＜配信枚数2枚＞

若手研究者や大学院生が研究の面白さを発信
衣笠ライスボールセミナーのご案内
開催日：2022 年 5 月 12 日（木）、5 月 26 日（木）、6 月 9 日（木）、6 月 23 日（木）

立命館大学は、若手研究者や大学院生が自身の最新の研究成果を発表し、昼食の時間に軽食をとりながら、参加者と自由にディスカッションを楽しむ、「衣笠ライスボールセミナー」をオンラインで開催いたします。

ライスボールセミナーは、2007 年に教職員の研究交流の場として開始し、現在では、専門分野を越えた研究者や学生間の交流促進、研究活動の創出など、次世代を担う若手研究者育成の取り組みの一環として、年間を通して定期的に開催しています。

各テーマに興味がある方をはじめ、大学で展開する研究内容や研究の面白さ・魅力を知りたい方のご参加をお待ちしております。

記

(1)「規格化された都市霊園はいかに意味づけられたか？」
日時　：　2022 年 5 月 12 日（木）　12:20～12:50
(2)「東アジア諸国からみた沖縄返還」
日時　：　2022 年 5 月 26 日（木）　12:20～12:50
(3)「近世日本の儒教と葬制」
日時　：　2022 年 6 月 9 日（木）　12:20～12:50
(4)「秦始皇帝の情報革命－『統一』の舞台裏－」
日時　：　2022 年 6 月 23 日（木）　12:20～12:50
※詳細は別紙をご覧ください。

会　　場	：	オンライン（Zoom ウェビナー）
対　　象	：	どなたでもご参加いただけます。
参 加 費	：	無料、事前申し込み制
参加方法	：	下記 URL より、参加登録のうえご参加ください。 http://www.ritsumei.ac.jp/file.jsp?id=532244
主　　催	：	立命館大学衣笠総合研究機構、立命館グローバル・イノベーション研究機構

以上

本リリースの配布先：　京都大学記者クラブ

●取材・内容についてのお問い合わせ先
立命館大学衣笠リサーチオフィス　担当：瀬古
TEL. 075-465-8224

別 紙

＜ライスボールセミナー内容＞

(1)「規格化された都市霊園はいかに意味づけられたか？」
墓は、伝統家族としての「家」のシンボルとみなされてきました。私は、戦後日本を対象に「家」が変化するなかで、いかなる論理から墓が建立され、その継承の断絶が憂慮されているのかを研究しています。
登壇者 ： 衣笠総合研究機構 専門研究員 辻井 敦大
【専門：社会学】

(2)「東アジア諸国からみた沖縄返還」
沖縄の基地問題は、朝鮮半島の南北の対立や中国と台湾の対立とも密接な関係があります。このため、米国統治下の沖縄の状況に加え、韓国政府、台湾（中華民国）政府が沖縄をどう見ていたかについても研究しています。
登壇者 ： 衣笠総合研究機構 助教 成田 千尋
【専門：沖縄戦後史、東アジア国際関係史、日本政治史】

(3)「近世日本の儒教と葬制」
近世（江戸期）は「儒教が広まった時代」と言われることがあります。では、それはどのような領域にいかなる形で広まったのでしょうか。儒教とは一見無関係に思える近世の葬制に注目することで、考えてみます。
登壇者 ： 衣笠総合研究機構 専門研究員 松川 雅信
【専門：日本思想史、日本近世史】

(4)「秦始皇帝の情報革命－『統一』の舞台裏－」
中国古代は、合理的な情報システムを採用していました。私の研究では、当時使用された簡牘（かんとく）という木版に遺された断片的な情報を手掛かりに、史書に描かれることのない情報システムの復元を試みています。
登壇者 ： 衣笠総合研究機構 専門研究員 畑野 吉則
【専門：中国古代史、簡牘学】